

長野県農村生活マイスター協会木曽支部で 「御嶽はくさいの産地視察」を開催しました

開催日 9月14日（火）

場 所 木祖村

内 容

長野県農村生活マイスターは地域農業の振興やむらづくり活動等に意欲的な女性農業者を農村生活マイスターとして県知事が認定しています。

木曽地域のマイスターが所属する県農村生活マイスター協会木曽支部では、地域で栽培される「御嶽はくさい」をもっとよく知り今後の活動に活かそうと、会員が栽培しているほ場を視察しました。

木曽地域で栽培される夏はくさいは「御嶽はくさい」のブランド名で知られており、市場評価が高いのですが、生産地が限られるため、栽培の様子を目にする機会がない上、地域内の流通量も少ない野菜です。

当日は会員18人が出席しました。視察したほ場は、木祖村の標高1,000mの高原地帯で約5ha栽培されており、畑一面のはくさいに、会員から感嘆の声があがりました。

栽培している会員から、今年は雨が多くて栽培に苦労したことや地域のはくさいの栽培状況など話を聞き、会員らは熱心に耳を傾け、質問をしていました。

最後に農業農村支援センターから御嶽はくさいの概況と生産に係る取組について説明をしました。

はくさいのほ場を初めてみる会員が多く、「大変勉強になった。学んだことを、地域での食育活動などで活かしていきたい」と話していました。

